

2025年度生(令和7年度生)

大阪農大 学生募集案内

※ 本校は学校教育法に基づく学校ではありませんが、通学証明など、一部学生割引は適用されます。



「大阪農大」で
農業のリアルを学ぶ。



地方独立行政法人
大阪府立環境農林水産総合研究所
農業大学校

〒583-0862 大阪府羽曳野市尺度442
TEL.072-979-7032 FAX.072-979-7077
<https://www.knsk-osaka.jp/noudai/>

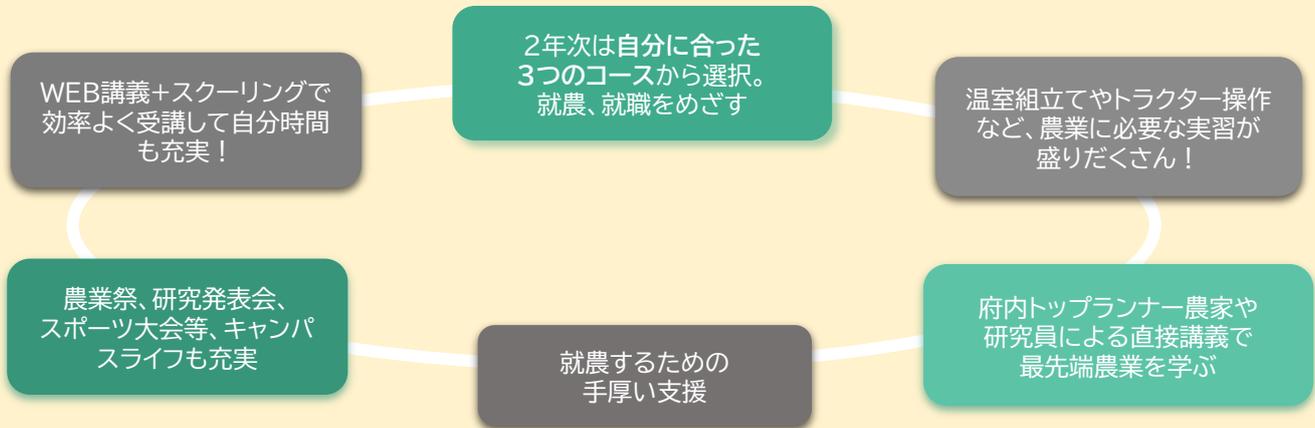


農大ホームページへは
こちらのQRコードから

大阪農大の教育方針

幅広い視野から農業を考え、時代の変化に応じた技術力と判断力、応用力を身につけた農業者及び農業技術者を養成します。

ココがすごい！カリキュラムの特長



直売所や農業祭で自作農産物を販売



燻炭づくりなどのノウハウも伝授



ビニル張りの技術は就農に必須



トラクターの正しい操作も習得

<カリキュラム> 令和7年度より順次WEB授業がスタート！

養成期間		2年間 前後期制(前期4～9月、後期10～3月) 夏期休暇等あり
授業時間		9:40～16:00 午前は講義、午後は実習が中心
1年次	講義	野菜概論、果樹概論、作物概論、応用昆虫、植物病理、土壤肥料、農業機械、就農基礎 大阪農業などの基礎講義
	実習	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪で専門的な栽培の多い果菜類、軟弱野菜、ぶどうなど20品目を中心に栽培実習 ・施肥・耕うん・は種・定植・せん定・収穫・出荷調製など品目ごとの一貫管理による技術習得 ・トラクターなど農業機械操作技能の習得 ・週1回の直売実習で生産物の陳列・接客・販売を経験 ・大阪府「農の匠」宅等での実習により農業のリアルを体験
2年次	講義	雑草防除論、農業経営、マーケティング論、花き概論、作物栄養、情報処理基礎・演習、農産加工、スマート農業概論、複式簿記、環境保全型農業、施設園芸概論などの専門講義
	実習	<p>進路希望に合わせ、3コースから選択、成果を卒業論文にまとめます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.農業技術研鑽コース <ul style="list-style-type: none"> ・研究部門で最先端の農業に関する専門的な技術・知識習得 2.農業実践コース <ul style="list-style-type: none"> ・経営計画を立ててほ場の周年管理を実施、農業技術力と経営管理能力を身に付けて就農をめざす 3.農業参入コース <ul style="list-style-type: none"> ・農家の下での長期実習(最大80日間)で技術と地域での信頼を獲得し、より速やかな就農につなげる

一年次 栽培実習 6~8人程度の少人数で、大阪の主要品目を中心にきめ細かい指導を行います

〔野菜〕 なす、トマト、きゅうり、えだまめ、キャベツ、イチゴ、ねぎ、こまつな、しゅんぎくなど

〔果樹〕 ぶどう、かき、みかん など

〔作物〕 水稻

野菜実習／きゅうりの誘引



果樹実習／イチジクのせん定作業

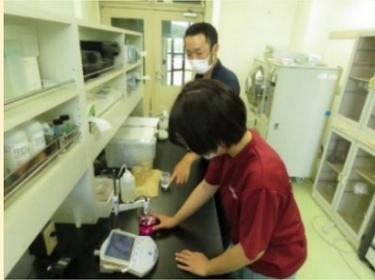


農業機械実習／耕運機の基本操作



二年次 専攻実習 希望する進路に基づき、3つのコース別に実習を行い、成果を卒論にまとめます

研究員に教わりながら、土壌中の成分を分析しています。



海外のナスの品種比較を行いました。



1. 農業技術研鑽コース

大阪の最先端の農業研究を行っている研究員のもとで、農業の専門的な知識習得や実践的研修を行います。

専攻分野: 野菜、果樹、花き、水稻、土壌肥料、病害虫など

2. 農業実践コース(野菜・果樹)

就農をイメージして、託されたほ場エリアでの周年管理を行うとともに、卒論のテーマで設定した課題解決に向けて自ら栽培することで、農業技術力と管理能力の向上を図ります。

各自割り当てられたハウスを周年管理



メロンでの就農をめざし、は種から収穫・販売まで実践しました。



ももでの就農をめざし、河内長野市の農家のもとで研修を受けました。



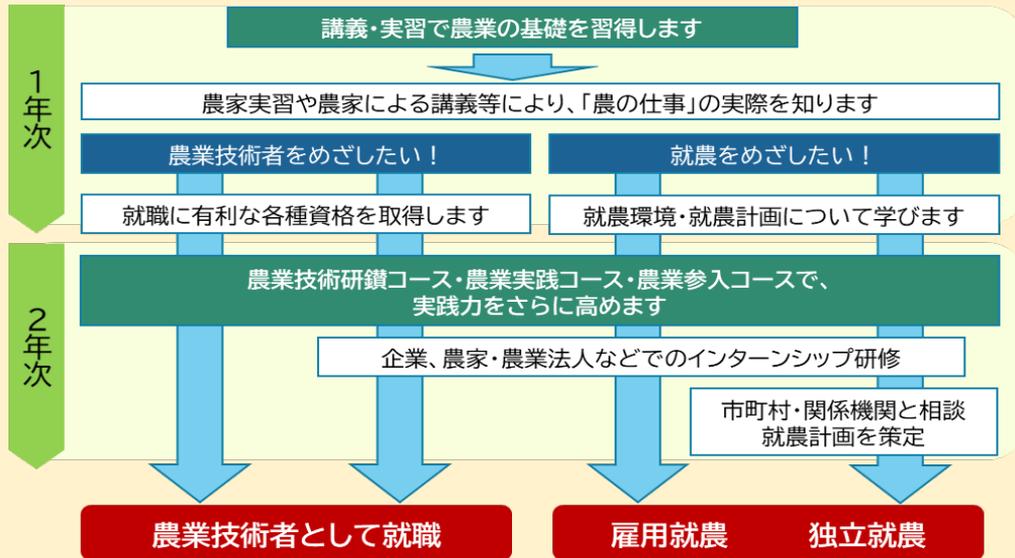
水なすでの就農をめざし、貝塚市の農家のもとで研修を受けました。



3. 農業参入コース

就農希望地に近い農家のもとで長期の農家実習を行い、即戦力となる技術と地域の主要農家との信頼関係を構築し、速やかな就農につなげます。

農業技術者・就農へのステップ



進路、資格

進路(令和5年度)	人数	主な進路(令和5年度)
新規就農	2人	新規就農:メロン(能勢町)、水なす(和泉市)
雇用就農	5人	雇用就農:なす・きゅうり(富田林市)、軟弱野菜(京都府)、いちじく(河南町)、たまねぎ等(兵庫県)、醸造用ぶどう(北海道)
就職(農業関係)	5人	関連企業就職:一般財団法人日本穀物検定協会(検査)、株式会社ニチノサービス(農薬)、株式会社山本製作所(農業機械)、株式会社シー・アイ・シー(環境・衛生)
その他	2人	

資格取得支援

毒物劇物取扱責任者、大阪府農薬管理指導士、大型特殊免許(農耕用)、日本農業技術検定、土壤医検定など

オープンキャンパス

第1回	令和6年8月3日	(土)	10時~12時
第2回	令和6年11月3日	(日・祝)	10時~12時

要予約 各回先着20名

プログラム

校内案内・実習体験・概要説明

<持ち物>

汚れても大丈夫な服装、帽子、手袋、水筒、タオル等

<同伴者>

保護者等おひとりまでご同伴いただけます。申込は、各回とも開催約1か月前に大阪農大WEBページからご案内します。



やるぞ農業!

卒業生からのメッセージ

田中麻綾(2021年卒業/雇用就農⇒独立就農・いちご生産者)

他産業に従事していましたが、もともとやりたかった農業を自分でもできるかどうか判断するため、大阪農大に入学しました。在学時はぶどう栽培と高齢者の生きがいをテーマとした卒論研究をし、全国農業大学校等プロジェクト発表会で最優秀賞をいただきました。

卒業後はぶどう農家といちご農家のもとで雇用就農後、河南町で農地が見つかり、いちご栽培を開始しています。「苺屋つむぎ」で検索してみてください!

令和2年度全国農業大学校等プロジェクト発表会で最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞!

Topics



最優秀賞を受賞し、大阪府吉村知事を表敬訪問した田中さん



交流型農業を実践する川崎さん

川崎佑子(2014年卒業/雇用就農⇒独立就農・いちじく、多品目野菜生産者)

在学時に研修で出会った農業者のところで、雇用就農しました。4年を経過したときに近隣の高齢な方から農地を使ってみないかと声をかけていただき、独立就農しました。

今は羽曳野市でいちじくや多品目の野菜を生産しつつ、栽培ボランティアなど様々な形で人が集う農園を実践しています。その活動に賛同してくれるスタッフと地域の消費者と交流しながら農業ができていくことがとても楽しいです。

築地 源(2017年卒業/JA就職・営農指導員)

農業技術者になりたいと思い大阪農大に進学しました。在学時は病害虫防除に関する研究テーマに取り組み、その技術を生かしてJAに就職し、営農指導員として活動しています。

職場では、地域の特産品であるなす、ぶどうなどの生産者への技術指導や、市場出荷業務など行い、最近では、農薬散布用ドローンの操縦者資格を習得し、水稲での防除にも従事し、忙しくもやりがいのある毎日を過ごしています。



農薬散布用ドローンを操作する築地さん

校長からのメッセージ



こんにちは!

私たちは、就農や農業技術者をめざす学生が「農大に行ってよかった」と言ってもらえるような満足度の高い学校運営を心がけています。

特に実習については、技術力の高いスタッフを備え、農家が実践している独自の技術なども学べるとともに、府内トップランナー農家のもとでの研修も充実させています。

大阪農業のリアルを学び、農業者や農業技術者を志す方をお待ちしています。

ぜひ、大阪農大でお会いしましょう!

農業大学校 校長 根来 実

必要経費

- (1)養成料 年額 146,600円（2期分納）
※養成料は改定されることもあります。その他、諸費用が必要となる場合があります。
- (2)教科書、実習服、農家実習、校外学習、教育後援会、傷害保険など
1年次 約165,000円、2年次 約145,000円

修学支援

- (1)独自修学支援制度
大阪農大には養成料を減免する独自の修学支援制度があります。
- 【対象者】 次の条件にすべて合致する方
※「高等教育の修学支援新制度」に準じます
①国籍・在留資格等(日本国籍を有する者等)
②進学するまでの期間等(高校卒業後2年以内等)
③学業成績等(高校時評定3.5以上または入学試験の成績上位1/2以上等)
④家計の経済状況等
- 【内容】 家計の経済状況に応じて養成料の全額、2/3、1/3の免除
- (2)国の就農準備資金（農業次世代人材投資資金）
卒業後に就農することを条件に、本校に修学中の学生等に資金を交付（※1、※2）
ただし、大阪府の予算措置の状況により、資金を受けられない場合があります。
- （参考）令和6年度募集内容
【交付対象者】 就農予定時に49歳以下の者
【交付額】 12.5万円/月（150万円/年）を最長2年間
- <主な交付要件>
独立・自営就農※1、雇用就農又は親元就農※2をめざすこと
※1 就農後5年以内に認定新規就農者又は認定農業者になること
※2 就農後5年以内に経営を継承すること（法人の場合は共同経営者になること）。ただし、5年以内に経営継承等ができない場合は、独立・自営就農すること

受験案内

- <募集定員>
20名（推薦入学と一般入学の合計）
- <受験資格>
- (1)推薦入学（以下の全ての要件を満たしている者）
- ・卒業後、農業者又は農業技術者として従事する見込みのある者
 - ・学業成績に優れ（調査書の全体の評点が5段階で平均3.5以上）、令和7年3月に高等学校卒業見込みの者
 - ・在学高等学校長の推薦書が得られる者
- (2)一般入学（以下の全ての要件を満たしている者）
- ・学校教育法(昭和22年法律第26号)による高等学校を令和7年3月卒業見込みの者、もしくは高等学校卒業生、または高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると理事長が認めた者
 - ・卒業後、大阪府内において農業に従事し、または農業技術者として従事する志のある者

受験案内

	推薦入学		一般入学	
			一次募集	二次募集 一次募集で定員に達しない場合のみ実施します。
願書受付期間	令和6年10月25日(金) ～11月11日(月)		令和6年12月3日(火) ～13日(金)	令和7年2月3日(月) ～2月17日(月)
願書受付場所 及び出願方法	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所農業大学校へ直接持参又は簡易書留で郵送 受付時間：午前10時～午後4時(土・日、祝日は除く) 郵送の場合は簡易書留で願書受付期間内に必着のこと			
出願書類	1. 入学願書 注(1) 2. 履歴書 注(1) (写真貼付：裏面に氏名を記入) 3. 調査書(高等学校長) 4. 推薦書(高等学校長) 5. 受験票送付用切手(720円)		令和7年3月高等学校卒業予定者 1. 入学願書 注(1) 2. 履歴書 注(1) (写真貼付：裏面には氏名を記入) 3. 調査書(高等学校長) 4. 受験票送付用切手(720円)	令和6年3月以前の高等学校等卒業者 1. 入学願書 2. 履歴書(写真貼付：裏面には氏名を記入する。) 3. 卒業証明書(最終学校長) 姓名が卒業証明書等の 姓名と異なる場合は、そのことを証する戸籍抄本 の写し等を提出してください。 4. 受験票送付用切手(720円)
試験期日	令和6年11月22日(金) 10:20～		令和6年12月24日(火) 9:00～	令和7年2月26日(水) 9:00～
試験場所	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 農業大学校			
試験科目 試験時間	10:20～ 受付 10:30～10:40 注意事項の説明 10:40～11:10 基礎数学(*) 11:20～12:00 作文 13:10～ 面接		9:00～ 受付 9:10～9:20 注意事項等の説明 9:20～10:10 必須：国語総合(古典除く) 10:20～11:10 必須：数学 I (基礎数学問題含む) 11:20～12:10 選択：「理科(生物、化学基礎)」、 「農業と環境」から1科目 13:10～ 面接	
合格発表	令和6年12月2日(月)		令和7年1月10日(金)	令和7年3月6日(木)
発表方法	大阪府立環境農林水産総合研究所のホームページに合格者の受験番号を掲載(午前10時)			

(*)基礎数学は農業に必要な希釈や濃度の計算、面積計算、植付本数を調べる計算、消費税計算問題とする。

注(1) 入学願書、履歴書は農業大学校指定用紙です。

指定用紙の請求は農業大学校職員室、または府内の大阪府農と緑の総合事務所農の普及課に請求するか、農業大学校ホームページからダウンロードして使用してください。

入学願書の郵送を希望される方は、送付用切手140円を同封し請求してください。

<試験結果の開示について>

本人に限り、口頭による得点の開示請求ができます。開示を希望される方は、次により申し出てください。

なお、電話による照会は一切受け付けません。

- ① 期間 合格発表日から1か月以内
- ② 場所 (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 農業大学校
- ③ 方法 口頭による
- ④ 内容 得点



24haの広大な敷地と最先端の研究、充実した環境で農業のプロをめざそう！

アクセス

- 電車とバス利用
近鉄南大阪線「藤井寺」駅前から近鉄バス（羽曳が丘循環）に乗車「羽曳が丘八丁目」停留所下車、羽曳が丘八丁目停留所から北門（通用口）まで約100メートル（南方面つきあたりを右すく）北門から入り、事務所棟まで約650メートル
- タクシー利用
近鉄古市駅から約10分
- 自動車利用
南阪奈道路「羽曳野」出口すぐ
- 徒歩
近鉄古市駅より徒歩 30 分。近鉄喜志駅より徒歩 25 分



問合せ先

機関名	住所	電話番号
大阪府立環境農林水産総合研究所 農業大学校	〒583-0862 羽曳野市尺度442	072-979-7032 (直)
大阪府北部農と緑の総合事務所 農の普及課	〒567-0034 茨木市中穂積 1 丁目3-43 三島府民Cビル内	072-627-1121 (代)
大阪府中部農と緑の総合事務所 農の普及課	〒581-0005 八尾市荘内町2丁目1-36 中河内府民Cビル内	072-994-1515 (代)
大阪府南河内農と緑の総合事務所 農の普及課	〒584-0031 富田林市寿町2丁目6-1 南河内府民Cビル内	0721-25-1131 (代)
大阪府泉州農と緑の総合事務所 農の普及課	〒596-0076 岸和田市野田町3丁目 13-2 泉南府民Cビル内	072-439-3601 (代)